

ご近所の お医者さん

452

いそのかみ皮膚科院長 磯ノ上正明さん 一大東市

皮膚病と療養泉

私は温泉好きの皮膚科医です。皮膚科と温泉と言いますと「皮膚病にはどこの温泉が良いの？」という話になりますので、少し療養泉のさわりを。温泉はその主体ミネラルの成分、酸性度などから10種類に分類されます。

草津(群馬県)、酸ヶ湯(青森県)

など酸性が強い温泉は皮膚

化膿症にはよく効きます

が、老人性乾皮症には刺激が強すぎて悪化します。八甲田(同県)の炭酸泉

好みの温泉見つけて

私は末梢血行障害に卓効。重油の入った豊富(北海道)はアトピー性皮膚炎や乾燥患者さんの聖地(泉?)と呼ばれています。このように温泉は多種ありますが、おのずと自分好みの泉質や趣がはっきりしてきます。

私流の楽しみ方は、学会出張の折に

のどろどろの湯が、床下から噴出していて感動しました。そうです。青森県は温泉県だったので。

もう一つの楽しみ方の無料の秘湯めぐりですが、北海道・知床には野趣あふれる露天風呂がたくさんあります。その中で同好の方にぜひおすすめしたいのが羅臼熊ノ湯です。知床横断道路羅臼側にあり、重曹硫酸食塩泉で硫酸臭がありながらアルカリ性で私好み。湯あたりは最高なはずですが、「はず」が付くのは、

湯あたりは最高なはずですが、「はず」が付くのは、

温泉を見つけて入ること、長めの休みで無料の秘湯をはしこすることの2通りです。地方の学会は中核都市で開かれますが、街中で温泉が公衆浴場として愛されている都市があります。関西人の私にとって驚きだったのは青森県弘前市での学会でした。周辺には早朝から開いている名湯と呼ばれる公衆温泉がたくさんあります。私が訪れた新屋温泉(同県平川市)は緑色

ゆっくり泉質を楽しめるのはよほどの熱風呂好きに限られるからです。この湯は元々、海で冷えた体を温めるために漁師さんが使っていたため、勝手に加水できません。他にもルールがあり、「熊ノ湯10箇条」と書かれた木札が脱衣小屋に掛かっています。ボランティアで管理している方々の、湯以上に熱い「気持ち」で、この素晴らしい露天風呂は維持されています。



いそのかみ皮膚科院長

磯ノ上正明さん 一大東市